

地域でつながる日本語教室の実施について

1 目的

外国籍住民等と地域住民との相互理解及び交流並びに外国籍市民等の居場所づくりを促進するため、外国籍市民等と地域住民がやさしい日本語やシンプルな英語などを用いて地域の生活習慣や行事、外国籍市民の文化などを学びあう日本語教室を設ける。

2 事業実施者（委託先）

< 京都文教大学 >

- 企画運営コーディネーター
京都文教大学 杉本教授，金教授，安田准教授
- 日本語教室実施体制
京都文教大学国際文化コース関連教員及び学生（留学生含む）

3 実施場所

元向島中学校の教室を想定

4 プログラム

向島地域を中心に居住する外国籍市民のうち、主に「親子」を対象とし、地域住民とのつながりを創出するため、日本語教室や交流イベントを通じて、以下のプログラムを実施する。

- ① 日本語を使う機会の提供
- ② 生活情報や行政情報の理解促進
- ③ 日本の文化・習慣についての学習

5 当面の予定

令和元年 9 月下旬	外国籍市民，地域，大学関係者で交流イベント開催
10 月以降	月 2 回のペースで教室の開催（第 1，3 土曜日）
10 月 26・27 日	向島まつり（関係イベントあり）